

## 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 藤井 皆人

1 日 時 平成30年10月1日(月) 5校時(14:00~14:45)

2 学 年 第5学年1組 男子22名 女子14名 計36名

3 単元名 ふるさとの魅力発信プロジェクト

### 4 単元について

#### (1) 単元観

生口島・高根島には、たくさんの観光地や特産物があり、1年間を通してたくさんの観光客が訪れる。しかし、「山・海・島」体験活動でお世話になる大和町の方(25名)や島外の人達(24名)にとったアンケートでは、「生口島・高根島がどこにあるか知っていますか。」という質問では、わずか約10パーセントの人しか知らないという現状があった。

これらのことから、「山・海・島」体験活動で大和町の方々と交流をする際、生口島・高根島の魅力をどのように伝えていけば良いのだろうかという課題を設定し、解決していくための手段や方法を考え「課題設定・解決力」を身に付けることをねらいとしてきた。しかし、7月に西日本豪雨があり、宿泊地である大和町が被災した。大和町の被災の現状を知り、魅力はいつでも伝えることができるが、今は大和町との交流を継続するために、自分達にできることはないのだろうかという課題に設定し直した。今直面している大きな課題について、手段や方法を友達と意見交換し、解決していく活動は児童にとって生き方の成長の場である。

また、今後の見通しとして、生口島や高根島についての調べ学習を通して、地域の特色や魅力に気づくことができると考える。その魅力を発信することで、児童が「地域への愛着や誇り」を感じることをねらいとして単元を設定した。

#### (2) 児童観

本児童は、総合的な学習の時間において、1学期に生口島・高根島の魅力について調べ学習を行い、その魅力を「山・海・島」体験学習でお世話になる方へ伝えようと、まとめる方法や伝える手段を話し合ってきた。しかし、西日本豪雨が起り自分達も断水に苦しむ中、大和町の現状を知り、心を痛める児童も多くいた。そんな中、大和町の方に自分達ができることがあるのではないかと考え、クラスやグループで意見を交流し、実践してきた。

しかし、1学期に行ったアンケートの結果、83%の児童が「やってみたい」という気持ちで学習している(主体的)と回答したのに対し、自分で調べたこと、考えたことを発表することができる(表現力)と回答した児童は、わずか55%に留まっている。そこで、2学期の学習にもグループで話し合う活動やグループ同士で改善点を出し合う活動を繰り返し行うことで、表現する力を伸ばしていくことができると考える。

また、100%の児童が、生口島・高根島はいいところだと思っていると回答している。島の魅力を島外の人に発信し、知ってもらふ経験をすることで、生口島・高根島に対する愛着や誇りを持つだけでなく、そこに住む自分を肯定的に考えることができると考える。

### (3) 指導観

指導にあたっては、生口島・高根島の魅力についてのアンケートをとり、自分達が考える魅力と島外の方や自分達の親が考える魅力の相違点や共通点に気付かせることで、大和町の方に魅力を発信する興味・関心を持たせていく。

情報収集の際には、家族への聞き取り、インターネット、パンフレットなどの手段の中から、よりよい情報収集の仕方を選択することや、集めた情報の中から必要な情報を選ぶことにワークシートなどを活用していく。

また、考えた内容を全体に広めたり、グループごとに提案し合ったりする経験を増やすことで、友達の意見と自分の考えを比較し考えられるようにする。

本時では、考えた観光案内の内容を提案し分析する。さらに、それぞれのグループの今後の課題を出し合うことで、これからどんなことを考え、準備したらよいか、次時の活動へつなげるようにしていきたい。

## 5 単元の目標

自分の住んでいる町の魅力について自分なりの考えを持ち、それを情報発信することで、自然や食、人の温かさといった地域の素晴らしさに気付かせ、地域の一員としての自覚と誇りを高める。

被災された方との交流を通して、自分たちができることについて考え、実践する。

## 6 単元で育成しようとする資質・能力及び態度

育成しようとする資質・能力		評価規準
知識	B 自学力	分からないときにどのように調べたらよいかという、調べる術を活用できる。
スキル	C 課題発見・解決力	自ら課題を見出し、課題を解決する方法を創造したり、実行したりすることができる。
	D 表現力	大和町の方との交流の仕方や活動内容などについて自分の意見を持ち、友達の考えとの相違点や共通点に着目しまとめることができる。
価値観・倫理観	H 地域への愛着・誇り	この学習を通して、生口島・高根島の一員として自分はどうなりたいのかという目標を決めて粘り強く取り組み、活動を振り返ることができる。

7 指導計画（44時間）（本時35／44）

次	月	学習内容	時 数	探究の過 程	評価規準（B）【評価方法】	関連する 教科
第一 次	5	○これまでの学習を振り返り生口島・高根島の良さについて話し合う。 ・自分たちが考える生口島・高根島の良さについて話し合う。 ・生口島・高根島以外に住んでいる人にアンケートをとり、自分たちが考える良さとの共通点や相違点を考える。 『生口島・高根島の魅力を発信しよう』	5	課題の設定	C①生口島・高根島についてのアンケートを通して、自分達との考えの相違に気付くことができている。【学習シート】	
	6	○生口島・高根島の魅力を三原市大和町の人（「山・海・島」宿泊体験でお世話になる人）に伝える計画を立てる。 ○グループに分かれ、それぞれの項目について調べる。 ・家族や地域の方に聞き取り ・インターネット ・資料（パンフレット、本など） ○家族の考える生口島・高根島の良さについてアンケート調査する。 ○調べたことをまとめる。 ・他のグループとまとめを交流し、改善する。 ・交流をするための準備をする。	8	情報の収集   整理・分析	B①生口島・高根島の魅力について情報を収集している。【ワークシート】  B②調べる方法を自分で考え、情報を収集することができている。【ワークシート】  D①どんな交流・発表にしたいか進んで考えを表現する。【発言・ワークシート】  H①生口島・高根島の魅力をたくさんの人に知ってもらおうとする意欲を持つ。【行動観察】	国語【表現力】 「文の組み立てに気をつけよう」
第二 次	7	○西日本豪雨による三原市大和町の状況を知り、気付いたことや思いを伝え合う。 ・三原市大和町の写真から気付いたことや考えたことを話し合う。	4	課題の設定	C②大和町の状況を知り、思いを持つことができている。【発言・ワークシート】	

		『大和町の人達のためにできることはないのだろうか』				道徳【地域への愛着・誇り】 「サタデーグループ」
		○大和町の人たちに自分達ができることを話し合う。  ○それぞれのグループに分かれ、自分たちができることを実施するための計画を立てる。 ○グループで実施内容を考え、準備をする。 ・他のグループと意見を交流し改善する。	6	情報の収集  整理・分析	D②今、大和町の人達に必要なことは何なのかを考え、自分の考えを表現することができる。 【発言・ワークシート】  D③理由などを挙げて改善点などを出し合い、内容を再考することができる。 【発言・行動観察・ワークシート】	国語【表現力】 「立場を決めて討論しよう」
	8	○大和町の人達と交流する。 ・交流の中で、大和町の人達の思いや願いを聞く。	2	表現	D④大和町の人達と進んで交流し、交流の中で相手の気持ちに寄り添い、どうすべきか考えて行動することができる。【行動観察】 C③交流の中で、感じた事や考えた事をまとめる。【ワークシート】	家庭【基礎学力】 「はじめてみようクッキング」
		単元を振り返る。	2	まとめ・表現	D⑤交流で感じたことや考えたことを、伝えることができる。 【発言】	
第三次	9	○大和町の人達と交流したり、振り返りをしたりする中で出てきた新たな課題を、探究していく。 『大和町の人達を生口島に招待しよう』	4	課題の設定 情報の収集	C④大和町の人達の気持ちを考えて、目的意識をもって情報を集めることができる。【学習シート】	音楽【表現力】 「ひびき合いを生かして」
		○大和町の人達を招待したときの内容を考える。(本時)			D⑥大和町の人達の思いに寄り添い、できることを考え、表現することができる。【発言・ワークシート】	道徳【地域への愛着・誇り】 「サタデーグループ」

10	<p>○大和町の人達を招待し，島を案内する計画を立てる。</p> <p>○グループに分かれ，考えを出し合いながら案内する内容を話し合う。</p> <p>○他のグループの提案を聞き，改善点などを出し合い，内容を修正する。</p> <p>・島を案内する準備をする。</p>	8	整理・分析	<p>D⑦今まで調べた情報を生かし，案内する内容を考えることができる【ワークシート・発言】</p> <p>D⑧理由などを挙げて改善点などを出し合い，内容を深めることができる。【発言・行動観察・ワークシート】</p>	<p>図画工作【地域への愛着・誇り】</p> <p>「伝えたい思いや気持ち」</p>
11	<p>○大和町の人達に生口島・高根島を案内する。</p>	2	実行	<p>D⑨大和町の人達と進んで交流し，交流の中で相手の気持ちに寄り添い，どうすべきか考えて行動することができる。【行動観察】</p>	<p>国語【協調性】</p> <p>「敬語を適切に使おう」</p>
	<p>○今まで取り組んできたことを，4年生に伝える。</p> <p>・発表の準備をする。</p> <p>・リハーサルをする。</p> <p>・提案を伝える。</p> <p>○振り返りをする。</p> <p>・友達の発表を聞いて，これから大切にしていきたいこと，将来の自己の生き方を考える。</p>	3	<p>まとめ・表現</p> <p>振り返り</p>	<p>D⑩大和町のためにしてきたことを分かりやすく伝えている。【行動観察】</p> <p>H②生口島・高根島の魅力について，自分たちの住んでいる町に誇りを持つことができる。【ワークシート】</p>	

## 8 本時の目標

大和町の方々の思いを想起し、大和町の人達のためにできることを考えることができる。

## 9 本時の展開

学習活動	指導上の留意点 (○)	評価規準 【評価方法】
1 前時までの学習を振り返る。	○掲示物などを基に前時までの学習を想起させる。	
2 本時の学習課題を知る。		
大和町の方をドキドキ、ワクワクさせる招待内容を考えよう。		
3 内容を自分で考え付箋に書く。	○自分たちの思いだけでなく、大和町の人達の思いも意識させる。 ○実行可能なのかを考えず、自由に考えを書くように声かけをすることで、多数のアイデアが出るようにする。	
4 グループで考えた内容を交流し、まとめる。	○意見を交流する際には、理由をつけて話をするようにさせる。 ○それぞれの考えを出し合い、KJ法を用いて仲間分けをすることで、共通の考えを明確にさせる。	D⑥大和町の人達の思いに寄り添い、できることを考え、表現することができる。【発言・ワークシート】
5 グループごとに発表する。	○ワークシートを準備し、他のグループの発表を聞くときにはメモを取りながら聞けるようにしておく。	
6 振り返り、次時の予告を確認する。	○「本時で考えたこと」、「次から取り組んでいきたいこと」といった視点を提示する。	

## 10 板書計画

### 10/1 ふるさとの魅力発信プロジェクト



大和町の方をドキドキ、ワクワクさせる招待内容を考えよう。

大和町の人達  
のために！

大和町の人達  
を元気に！

#### 授業の流れ

- 1 ふり返り
- 2 今日の課題
- 3 自分で考える
- 4 グループで考えを交流し  
まとめる
- 5 まとめたことを発表する
- 6 ふり返り

1 班

2 班

3 班

4 班

5 班

6 班

7 班

8 班

9 班